

建築生産システムの国際比較と人の国際移動に伴う技術伝播

研究内容

国内外における建築生産をテーマに研究しています。特に、建築プロジェクトでの関係主体の役割や意思決定要因に加え、法制度や慣習など地域固有の社会システムの国際比較を行っています。また、建築の実性能を決定づける重要なポイントとして、施工現場における技能教育にも取り組んでいます。グローバル化が進む中、建設労働者の需要が高まる建設市場において、開発途上国の技能教育の在り方や、技能者の国際移動による技術伝播を研究しています。

地域・産学連携の可能性

東南アジアを中心に建築生産システムに関する調査(企画・設計・施工・監理に至る職能等)および法規の整理等を行ってきました。日本企業が海外へ進出する際に弊害となりうるカントリーリスク等に関する研究成果は、国内外の学術誌および国際会議において積極的に発信しています。また、調査を実施した各国の学術機関および調査協力いただいた地元企業へのつながりも大切にしながら活動を継続しています。海外の建築プロジェクトに関する生産システム、法規、技術移転、技術者教育、技能者教育に関するテーマでの産学連携が可能です。



このテーマに関連するSDGs開発目標



建築学部 建築学科 建築生産・構法、国際協力

佐々木 留美子 SASAKI Rumiko

講師、博士（環境学）

[URL](https://www.arch.tohtech.ac.jp/staff/sasaki.html) <https://www.arch.tohtech.ac.jp/staff/sasaki.html>



執筆論文

“Information sharing in building technology in Bangladesh: Focusing on formal and informal relationship”, Japan Architectural Review, Volume2, Issue 3, pp.349-366, 2019年4月

KeyWord 建築生産、建築構法、技術者、技能者、国際協力